

4-1 『十二支のおはなし』★



内田 麟太郎 作
山本 孝 絵
岩崎書店 2002年
新年あけましておめでとうございます。今年
の干支は何か知っていますか？うしと
らう…十二支がどうしてこの順番になっ
たのか楽しくわかりやすく書かれた本です。
(河東 友子)

4-2 『365 まいにち ペンギン』



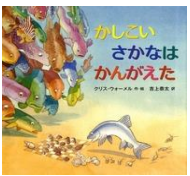
ジャン＝リュック・フロマンタル 作
ジョエル・ジョリヴェ 絵
石津 ちひろ 訳
ブロンズ新社 2006年
1月1日の朝ペンギンがとどけられた。毎日
ペンギンが1わずつとどいて、おおみそかには
365わになった。こんな変なプレゼントを
おくるのはだれ！？
(松本 幸恵)

4-3 『まゆとおに』★



富安 陽子 作
降矢 なな 絵
福音館書店 1999年
鬼の怖さを知らない純粋なまゆに鬼は近寄
り、食べるために優しく振舞います。です
が、まゆはやまんぼの娘。鬼以上に怪力で
は歯がたちません。いつの間にか仲良しに
なっていくのです。
(増田 真弓)

5-1 『かしこい さかなは かんがえた』



クリス・ウオーメル 作/絵
吉上 恭太 訳
徳間書店 2010年
むかしむかし、人間がまだいなかったころの
海には、変わった魚がたくさんいました。そ
の中で、とびっきりかしこい魚があることを
考えました。それは何か？
(杉野 彰美)

5-2 日本民話かみしばい選『ゆきおんな』



桜井 信夫 脚本
箕田 源次郎 絵
童心社 1982年
獵師の父子が突然の吹雪に山小屋に逃れ
ると、その晩ゆきおんなが現れ父親を殺し
てしまいます。一年後、命拾った息子のと
ころへ旅の女が訪ねて来て…。
(山口 真由美)

5-3 『むらの英雄』



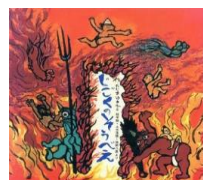
渡辺 茂男 作
西村 繁男 絵
瑞雲舎 2013年
昔、エチオピアの村の12人の男達が粉を
ひいてもらい村へ帰る途中で1人が仲間を
数えたところ、自分を数えるのを忘れたので
11人しかいなかった。「たいへんだ、誰かが
いないぞ！」さて、それからどうなった？
(高木 和美)

6-1 『かえるをのんだ ととさん-日本の昔話-』★



日野 十成 再話
斎藤 隆夫 絵
福音館書店 2008年
和尚さんに腹いたの相談をしたら、カエルを
のみこむことになったととさん。続いてヘビ、
きじとのむはめになり、さて最後は？節分に
おすすめの一冊です。
(渡邊 明子)
他：どうながのプレッツェル(福音館書店)
かようびのよる ★(徳間書店)

6-2 『じごくのそうべえ』★



田島 征彦 作/絵
童心社 1978年
地ごくってどんなところ？落語ってどんなも
の？一度は読んだことのあるお話で、新し
い発見をしてみてください。
(南部 恵)

6-3 『とんでいったふうせんは』



ジェシー・オリベロス 作
ダナ・ウルエコッテ 絵
落合 恵子 訳
絵本塾出版 2019年
おじいちゃんがたくさんのおもいでふうせん
を持っている。でも、一つまた一つ手からふう
せんは離れていってしまう。ついにはぼくと
の大切な思い出のふうせんまで…。
(若井田 菜穂子)



今回の読み聞かせは2月5日(水)8:25~8:40です。
お楽しみに！
なお、保護者のみなさんも見学ができます。
ぱたぼん通信が本選びの参考になればうれしいです♪

